

# 組織部報

国労東日本本部

組織部

2018年2月20日

No.18

## 2018春闘に暗雲！ 一転組織問題へ発展か？

国労は、1月27日に本部中央委員会、2月10日には東日本本部拡大委員会を開催し、「春闘要求」を確立。2月13日には統一要求「12,000円の『ベ・ア』他、10項目」の申し入れをJR東日本に行い、「今こそ人への投資を。実感の持てる賃上げを」求めて、国労の「18春闘」がスタートしました！

他方、今年の春闘交渉にも影響する東労組の動きが、昨年引き続き、混迷を深めています

1,500名を超える

脱退に発展！

東労組を巡る動きは、12日の産経新聞報道を前後し、昨年同様「格差ベア」を巡って会社との対立激化が表面化しています。

また、この数日間での東労組からの脱退は、既に1,500名を超えています（2月19日現在）と言われています。今後もその流れは止むことなく、

本社・支社に限らず現業機関に波及する勢いです。

次々に「〇〇職場では助役全員が脱退」「△△職場では、××さんが脱退」との報が続いています。

なぜそこまで！

会社と最大労組・東労組との間での対立は、ここ数年繰り返されてきました。「36協定締結」問題やエルダー制度見直し問題等、JRで働くものにとってハズレの遅れなど不安と不満の

声が高まる等、少なからぬ影響を被ってきました。

改めて、この間の経過を振り返り、組織問題の観点から、今起きている事を考えてみたいと思います！

## 今回の紛争ポイントは

### 【東労組】

「格差ベア」を無くし、全組合員一定額のベースアップを求める」、「将来にわたり格差ベアをしないこと」

### 【会社】

「約束できない」

これで対立し、交渉決裂。「スト行使を含めたあらゆる戦術行使に必要な手続きに入る」ことを通告した、と言われています。

そして、そうした動きが、2月12日に産経新聞の「対立路線回帰」報道で世間に発信されました。

更に16日から、富田社長名で「社員の皆さんへ」が職場に掲示されています。

## 昨年はスト権確立、席上妥結

ちなみに、昨年は東労組の「スト権」確立が世間を騒がせました。

そして、賃金要求提出前に「格差ベアをしないこと」を申し入れ、「定額ベアを確認」した上で、賃金要求を提出、結果「1,000円のベア」回答で席上妥結しました。

今年についても、同じ手法で賃金交渉前に「定額ベア」を求めたようですが、「将来にわたり」で対立し今年の現状となっています。

## いくつかの疑問

私たちの常識からすると、

① 賃金改善要求を申し入れてからの春闘スタートであるが、東労組は現時点では賃金改善要求は未提出となっている。ベアについての議論は、新

賃金改善交渉で行うのではないかと？

② 「格差ベア」是正で申し入れた「申」の表題は、「全組合員の一定額のベア」となっており、またも、「東労組を優遇せよ」とでも言いたいのか、他の申し入れとも極めて矛盾。

③ 一旦確立したスト権はどこまで通じるのか？

④ 「未来永劫にわたる定額ベア」を求めているが、会社に「未来永劫」を求めること自体、紛争のための理由づけではないのか。

悩みは尽きません。今号は、ここまですし、次号に続きます！

## 東労組の皆さんへ

国労にも助役として働く方もたくさんいます。

不安な気持ちも、職場の国労組合員に相談してみてください。